

美しい村だより



the most beautiful villages in japan

中川村

長野県

中川村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

地域政策課むらづくり係 (内線24) E-mail:kikaku@vill.nagano-nakagawa.lg.jp



総会会場(生涯学習センターあすばる)

「日本で最も美しい村」連合
定期総会2023 in 北海道標津町
しべつちよう

NPO法人「日本で最も美しい村」連合の定期総会および学習会が、6月28日(水)から6月30日(金)まで、北海道標津町で行われました。村からは、村長と担当職員の計3人が参加しました。

連合の定期総会は、毎年、加盟する町村域内の持ち回りで開催されます。今回は北海道プロックが担当し、標津町で開催されました。

今回の定期総会も対面での開催となり、連合加盟町村地域136人、正会員・準会員19人などが全国から参加しました。

総会では連合理事である宮下中川村長が議長に選出され、決算や活動方針などについて審議されました。



理事・町村地域代表者・正会員集合写真

また、報告事項では、世界の最も美しい村連合会総会が5月23日から5月26日に京都府伊根町・京都府和束町で開催され、中国の準加盟が承認されたことや次回定期総会は九州・沖縄プロックで開催されること、また宮下事業委員長からデジタルを活用した関係人口創出事業を来年度から準備・展開していくことが報告されました。報告・議案はすべて原案どおり承認となりました。

開催地紹介 北海道標津町

標津町は、根室海峡沿岸の中央部に位置する町です。

北海道らしい雄大で豊かな自然環境のもと、国内屈指の漁獲量を誇る秋鮭や天然ホタテ貝などの漁業、これらを原料とした鮭加工、ホタテ製品などの水産加工と広大な牧草地で約2万頭の乳牛による酪農を基幹産業とする「生産の町」です。

▼連合登録資源 (1) 鮭の文化

町名は、アイヌ語の「シベ・ツ」(鮭のいるところ)を語源とし、鮭を中心に発展してきました。昭和60年に秋鮭の漁獲量が日本一を記録してから15回も1位を継続し、平成12年からは、国内初となる「地域ハサップ」の実践により「品質も日本一」を誇り、今や歴史、産業、生活、教育、観光、食などのさまざまな面で鮭の恩恵を受けている、名実ともに「鮭のまち」です。

(2) 自然遺産ポ一川史跡自然公園
 竪穴式住居が2500以上も残る「国指定史跡・標津遺跡群」、貴重な動植物の宝庫である「国指定天然記念物・標津湿原」、町の歴史を復元した「開

拓の村」の3つから構成され、毎年多くの交流者が訪れています。

現地視察
そばから始まった
地域づくり

現地視察で向かったのは、鮭ぶし工場の知床標津マルワ食品。標津町が美しい村に加盟した時に特産品をつくろうと最初こそば栽培が始まり、「どうせならダシも標津産でやりたい」そんな思いから、当時は廃棄されていた産卵後の鮭に目をつけました。鮭ぶしの本場焼津に研修生を送り、わずか1年足らずで標津の鮭ぶしは製品化されました。

鮭の文化という地域資源を磨き上げ、持続的な美しい村づくりを未来に託していくという美しい村連合の理念を強く感じる機会となりました。



知床標津マルワ食品



鮭ぶし(削り前)